

## 1 2 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議 録 【 概 要 版 】

開催年月日	令和7年12月24日（水）	場 所	市役所本庁 災害対策本部室
開催時間	13時30分 から 14時45分まで		
出席者	教育長	高森 賢一	
	教育委員	宮田 靖、久世由美子、甲斐千尋、遠田真央	
	参 与	丸山真二、池田元洋、岩佐正文、佐藤幸恵、岩切隆人、早瀬誠一郎、 吉田尚良、尾方農一、甲斐保孝、岡田健一、田中政秀	

### ◎ 開 会

高森教育長が開会を宣した。（13時30分）

### ◎ 会議録の承認

11月19日（水）に開催された11月定例教育委員会の会議録が承認された。

### ◎ 事務報告

#### ◆教育長より以下の業務報告が行われた。

- ・ 北部教育事務所との人事異動ヒアリング
- ・ 第1回こども文化の祭典
- ・ 小学生プログラミングコンテスト、中学生A1クラブ発表
- ・ みやフェス in のべおか
- ・ ～中高生が創る～のべおか平和の集い2025
- ・ 南中3年生代表生徒市長表敬

#### ◆教育委員より以下の報告が行われた。

宮田委員） 学びの多様な学校分教室の子どもたちがむかばき青少年自然の家で宿泊を伴う学校行事を行うということで大変興味深く、子どもたちの様子を見せていただいた。2日間を通して、仲間づくりを意識したゲームや野外炊飯、また創作活動など、先生方が子どもたちの状況をよく考えて活動プログラムを計画されていた。全体的に、子どもたちの表情がとってもよくて、楽しく活動している姿が印象的であった。またむかばき青少年自然の家では、ただ楽しく活動することだけではなくて、集団活動を通して規律を大切にしている面があるが、そういった時間を守

ることや活動の後始末など、そういう規律面もしっかりできていて大変すばらしい子どもたちだったと思う。子どもたちの感想を後日先生から見せていただいたところ、全員が、全体的に楽しい活動だったという感想が多かったが、一人一人の感想の中からキーワード的な言葉として、「みんなで」とか、「協力して」といった仲間を意識した感想や、活動から学んだことで「明日からも頑張りたい」とか、「これからも活かしていきたいと思います」など、大変前向きな感想に繋がっていたことも素晴らしいと思った。特に、3年生の感想では、「思い出がつくれてよかったです」といった感想が書かれていた。先生方のこの行事を計画された目的がしっかりと達成されていた2日間ではなかったかなあと考えた。学びの多様化学校では新聞等でも紹介されているように、地域を巻き込んだいろいろな行事もなされており、子どもたちの成長に繋がっているのかなと思っている。学校生活をしっかり過ごしている子どもたちの頑張りが一番だと思うが、こうした子どもたちの思いを大切にしながら、一人一人に寄り添い支えている先生方の一体となった体制があったからだと思う。今回、宿泊学習では校長先生も参加されていたが、先生方お一人お一人の子どもたちへのきめ細かな関わりを改めて感じる事ができたと思う。これからも学びの多様化学校の充実を期待しているところである。

久世委員) 12月13日に北方学園に講演に行った。その前の月に北方学園の学校訪問が予定されていたが、体調を壊して行けなかったので、校長先生の計らいで、各教室の授業やその他の活動も見せてもらえたのでよかった。講演は、小学校の5、6年生、中学校の1、2、3年生に保護者の方が対象で、寒かったがすごくよく聞いてくれて、子どもたちも質問をたくさんしてくれたので、よかったと思った。

遠田委員) 12月1日に土々呂小学校の学校訪問に行ってきた。体育の授業を見せてもらったときに、タグラグビーっていうのを楽しそうにやっていた。4チームあって、2チームが試合をしているときに、あとの2チームがタブレットを使いながらいろいろ作戦を立てたりしていたのを見て、すごいなと思ったが、その反面タブレットとかAIとか、そういうものに完全に依存するのではなくて、それをうまく利用して、自分の考えを使っていけたらいいのかなと思った。校長先生と話したときに、その体育の授業で、例えばマット運動をタブレットで動画撮影をして、本人にも見せて、また、見本となる上手い人と見比べた動画を作って、それを見比べて、修正点を見つけて、それを実践するという作業をしているってことだった。僕はサーフィンを教えることが結構あるが、自分自身がサーフィンをしている動画を見たことがないという方がすごく多くて、上

達するには絶対自分の動画を見ないと分からないと思う。それを毎回伝えていますが、話してみると、学生の頃などに部活とかクラブ活動で撮影したりして研究するという癖がついていない方がすごく多くて、それは多分、監督やコーチがそういうことを伝えていないと思う。でも今回の体育の授業でそういうことをやっているのを聞いて、ちゃんと自分の現状を理解して、解決策とかをいろいろ練っていけるっていう癖がついていけば、例えばスポーツだけに限ったことじゃなくて、人生においても、仕事とかにおいてもいろいろプラスになるんじゃないかなと、これはぜひ続けて欲しいなと思った。自分自身のことだが、12月の頭に千葉でマスターズのプロの大会があって、2年ぶりにファイナルに行って、4位だったので報告させていただきたい。また、2日前ぐらいのニュースで見たのが、精神疾患によって休職している公立学校の教職員が2年続けて7000人を上回ったっていうもので、衝撃的で、7000人もいるんだと思って。でも2023年も7000人を超えていて、昨年も超えていて、延岡でも学校訪問していてもやっぱり休職している先生たちがいることも少し聞くので、もっと先生たちものびのびやれるような環境を作っていければ、子どもたちにももっとプラスになるんじゃないかなと思った。

甲斐委員) 企業を経営していると、とても世の中の景気っていうのが気になる。12月16日に、宮崎県労働福祉団体中央会という団体の主催で、講師が藪中三十二さん。日曜日のサンデーモーニングのコメンテーターをやっている人で、元外務省の官僚、外交官。その人が、混迷する世界情勢と日本の進路っていう題材で、宮崎観光ホテルで講演があった。今、超大国というものが、ロシア、中国、アメリカ、この国のわがままっていうのが今世界でまかり通っている、これまでの常識が通じない世の中になってきているというような話があった。国連安保の常任理事国のロシアがウクライナを4年前に侵略したが、これが国連の機能不全になったというきっかけになったようである。それと、アメリカのトランプ氏が大統領になって、今度はアメリカが多角的自由貿易の体制をとって、これもトランプ氏の意のままというか、一番自分たちにも影響がある関税問題。これで日本は大きな打撃を受けた。うちも輸出するものっていうのもあるが、関税にはこれは当たらなかったとは思いますが、そこに当たる自動車産業とか家電産業とかそういうところっていうのは、本当に日本の経済が低迷していく要因で、今年の自分達中小企業の経営っていうのはとても苦しい。大企業だけは株価が上がって景気がいいっていう、そんな内容なのだが、末端のこういう企業っていうのは苦しむ。中国の脅威というのがあって、またこれが国際ルールを無視して、中国や南シナ海、それから、東シナ海の海洋進出をしている。島を自分たちの領土だとかい

ってやっているが、鉱物資源のレアアース、これを意識している半導体産業っていうのが、ちょっと今面食らっている。でも、日本は半導体産業っていうのはあるけれども、半導体を製造する装置、こっちでは世界有数である。そういうところで中国とは対抗できるっていうことは、前々から言われている。しかし、この超大国のわがままっていうのは、中国、ロシア、アメリカ、本当に世界を混乱させている。そんな説明を藪中氏が、外交官としての視線っていうことで自分たちに説明してくれた。外交っていうのは、あんまりズボットは言わない。人と人の話の中で、ちょっとこれ、周りくどいねって言ったら、そんな感じの外交っていうのが通例のようである。直接何かポッと自分の思いつきの上でやっていったら、今の首相のように中国からやられていく、揚げ足をとる政治だになっていうのもよく分かった。日本の今後の進路ってことについて、国家と日本人が今なすべきことっていうのを言われていたが、日本自身の考え方を明確にして、その考えとはっていうことで、東アジアの平和と繁栄を築いていこうっていう、また難しい考え方。米中の狭間で左右往生する事では無く日本がこの地域の平和をつくるリーダーになれっていうふうなことも言われていた。だけど、最終的には、これは政治家の喧嘩である。人と人っていうのはみんな仲いいと思う。後世の自分たちの子ども、それから孫という人たちが、やっぱり世の中平和で争いごとがないっていう世界平和を願うような、そういう気持ちで生きていくっていうのが一番大事なことになると思う。先ほど遠田委員が言われた文科省のニュースで、精神疾患で休職している先生っていうのは、去年は7087名。原因としては、児童生徒に対する指導への悩みっていうのは26.5%、2番目が職場の対人関係で23.2%。学校での事務的な業務が12.7%。我々企業っていうのも産業医と提携して、ちょっと悩んでいる人とか、そういう人っていうのは、月に1回産業医が来て、指導してもらう。職場はどこでも同じだなと。人間関係を今作り得る若い人っていうのが少なくなった。孤独な人が結構いるなど。一番わかるのは飲み会、忘年会とかいうときには、昔は全員参加で行っていたが、今は半分。若い人はほとんど来ない。飲み方がというか、人のつき合いが下手になったなっていうのをよく感じるようになった。文科省の対策としても、働き方の改革とかいろいろこうして、メンタルの不調をきたす教職員が出ないように、事前的な早期発見や早期の対応が大切としているっていうことらしい。また気になることがあって、公立学校や幼稚園の教職員の処分っていうのも出ていた。まずは、全国で体罰が311件。それと不適切指導っていうのが485件。適切に指導っていうのは何だろうって思うが。それと3番目が性犯罪。交通事故や交通関係でも2506件あったということで、先生

方もいろいろとあるなっていうのを、この文科省のニュースで感じる。子どもたちも今パソコンとかタブレットとかいろいろあるが、市の道徳教育っていうのは、もっとよくやっていた方がいいんじゃないかなと。こういういじめっていう問題の中には、やっぱり道徳という、しつけの教えが足らなくなっているからそうになっているんじゃないかなと、そういう要因もあるんじゃないかなと考える。

#### ◆各課からの事務報告

- 学校教育課長から、12月4日の「延岡市リーディングDXスクール研究公開」、5日の「延岡市小学校スポーツフェスタ」、6日の「のべおか小学生プログラミングコンテスト2025」「のべおか中学生AⅠ活用企画コンテスト2025」発表会・表彰式、12日の「第2回南方小自主研究公開」、24日の「令和8年度当初学びの多様化学校分教室入室選考会」や11月期の生徒指導に関する状況等について報告があった。

◎) 声掛け事案の内容について伺いたい。

⇒) 中学生に対し、車に乗っている人が窓を開けて「〇〇にいかない？」という声掛けがあったとの報告を受けている。

#### ◆補正予算報告

- 各課長より、12月議会に上程した補正予算の概要について報告があった。

#### ◆12月議会一般質問報告

- 教育政策課長より、12月議会における一般質問について、7名の議員から、学校教育などに関する計15問の質問があった旨の報告があった。

### ◎ 議 事

#### ◆議案第28号 カルチャープラザのべおか条例施行規則の一部を改正する規則の制定（社会教育課）

- 社会教育課長より、カルチャープラザのべおかの予約システム導入に伴う使用料納付期限の変更（申請時から利用日へ）をするため等の規則の改正について説明が行われ、異議なく承認された。

#### ◆議案第29号 延岡市公民館条例施行規則の一部を改正する規則の制定（社会教育課）

- 社会教育課長より、社会教育センターの予約システム導入に伴う使用料納付期限の変更（申請時から利用日へ）をするため等の規則の改正について説明が行われ、

異議なく承認された。

◆議案第 30 号 令和 7 年度延岡市善行児童生徒全体表彰者の決定（学校教育課）

- 学校教育課長より、令和 7 年度延岡市善行児童生徒全体表彰者の決定について説明が行われ、異議なく承認された。

◎ 協議事項

◆学校体育館への空調設備整備について（学校支援課）

- 学校支援課長より、下記のとおり説明を行ったのち、協議を行った。

○近年の気象現象の変化により、夏の酷暑が子どもたちの健康や学習に大きな影響を与えている。熱中症等のリスクもあり、屋外及び体育館での活動が難しくなっている現状の中、学校体育館等は、児童生徒の学習・生活の場であるので、教育環境の向上を図る必要がある。また、学校体育館は災害時には避難所として活用されており、避難所機能を強化し、耐災害性の向上を図る必要がある。

○全国における公立学校の体育館等の空調設備設置状況について、令和 7 年 5 月 1 日現在、令和 6 年度の設置率から 3 から 4 ポイントは上昇しているが、20%前半の設置率にとどまっている。また、この設置状況というのが、一か所を集中的に冷やすスポットクーラーを含む設置率なので、いわゆる体育館全体を冷やす冷房設備となると、もっと低い設置率になると思われる。延岡市の設置状況については、小学校が 100%、中学校は武道場も含んでいるので 60%となっている。これはあくまでもスポットクーラーを備えている学校数であり、いわゆる冷房設備が設置されている学校はない。

○このように、全国において、学校体育館等における空調設置率は低く、国としてもさらなる空調設置促進を課題としており、学校施設の避難所機能を強化し、耐災害性の向上を図る観点から、避難所となる全国の学校体育館等への空調設備整備を加速させるため、令和 6 年度補正予算として、空調設備整備臨時特例交付金を新設した。この空調設備整備臨時特例交付金は、補助率が 2 分の 1 で、起債の充当率が 100%、交付税措置率も 50%となっており、財政的に大変有利な交付金となっている。交付金を活用できるのは、避難所に指定されていることと、屋根の遮熱塗装などにより、断熱性が確保されていることが要件として挙げられており、対象期間は令和 15 年度までとなっている。

○本市における空調設備については、普通教室が令和元年度までに、避難所に指定されている特別教室が令和 5 年度までに設置が完了しており、残りの特別教室について、令和 6 年度から令和 8 年度の 3 ヶ年計画で設置を進めている。体育館については、先ほども説明した通り、スポットクーラーやビックファン

は配置しているものの、冷房設備については、整備が進んでいない状況である。国の方針に従い、本市の今後の整備方針としては、国の交付金は避難所指定という要件があるが、冒頭にも申し上げた通り、体育館は児童生徒の学習・生活の場であるので、公平性の確保という観点からも、避難所指定の学校にのみ設置を行うということにはならないと考えている。また、この国の交付金は、補助率などが財政的に大変有利となっているので、国の補助事業期間中、令和15年度末までに整備を行いたいと考えている。

○このような整備方針のもと、整備を進めるにあたっては、いくつかの課題が挙げられる。まず、財源の確保の問題。本市には小学校26校、中学校15校、義務教育学校1校、計42校ある。管理している棟数が多く、老朽化対策などの施設整備も進めていかなければならず、そのような工事などとの財源調整を考えていく必要がある。また、設置後は、維持管理費の増加にも繋がるので、これらの費用についても考えていかなければならない。2点目として、優先順位の付け方の整理が必要。交付金を活用するには、令和15年度末までの期限がある中で、42校を対象とするため、3ヵ年から5ヵ年計画が望ましいと考えているところであるが、ではどの学校から整備を進めていけばいいのかという整理が必要となってくる。3点目として、危機管理部局との協議が必要である。現在、避難所になっている体育館、武道場は、小学校が11校、中学校が6校。交付金を活用するには、体育館が避難所に指定されているという要件があることから、多くの学校体育館が避難所に指定されると財政的には有利になるが、津波浸水地域などの避難所指定は難しいなどの問題点もあるので、安全性は確保した上で、今後、避難所指定の体育館を増やせないかなどの協議が必要となってくる。また、危機管理部局における、他に活用できる補助金や交付金がないかなどの検討も必要である。4点目として、空調設備方式や発注方法の検討について。整備方法にはガス方式や電気方式などいくつか手法が考えられる。例えば、災害時の停電の際、プロパンガスがあれば作動する電源自立型のガス方式が有効だとする考えもある。設備導入時の費用や、導入後の維持管理費等も考慮した場合、どの手法がどのような施設で適切なのかということを検討していく必要がある。

○これらの課題を整理し、財政部局や危機管理部局と引き続き協議を行っていきたいと考えている。また、県内では、宮崎市や都城市において、市内全小中学校の体育館に空調機を設置する方針を出していることから、他市の状況も参考にしながら検討して参りたいと思っている。避難所環境の向上、そして何よりも児童生徒の教育環境の改善を図る上で、国の有利な交付金が活用できる期間内での整備を目指していきたいと思っている。

◎) 優先順位の付け方の整理っていうところが非常に難しいのかなあ

と思っているが、令和 15 年度末までにすべての体育館に設置する  
という考え方なのか。

⇒) 財政的に有利な交付金が 15 年度末ということなので、できるだけ  
そこまではとは思っているが、今の延岡市の財政状況でどうな  
のかっていうのはあるので、そこも踏まえて、今後財政当局等とも  
協議が必要になってくると考えている。

◎) そうなってくるとやっぱりこの優先順位っていうのが非常に大き  
な課題にはなっていくのかなと、今話を聞いて思ったところであ  
る。

◎) 子どもたちの学習・生活の場であるっていうことだけで考えたら、  
プールと同じような感じで、何ヶ所か起点があって、そこにバスと  
かで行って、その体育館を使うとかいうふうにした方が、予算もか  
からないから、避難所って考えると別だが、プールでの取り組みと  
ちょっと似てるなと思ったので。

⇒) プールの時間数と普通の体育館とか運動場を使った体育の授業時  
間数とか、そういう教育課程上のこともあるのかなと思う。

◎) 体育だけじゃなくて、全校集会、鑑賞教室、運動会前の結団式と  
か、暑い時期にも寒い時期にもいろいろ使うことがある。

◎) こないだ講演に行ったときに、体育館に集まって、子どもたちと  
保護者も皆ひざ掛けとかいろいろ持ってきていいよっていう学校  
側の指示でやっていて、丸くなって聞いているような感じだったの  
で、やっぱりこの空調ってのはすごく大事なんだなあと思うのと、  
もちろん、プールと体育館は必要っていうか、プールは今のところ  
夏ばかりの予定。体育館は今教育長が言われたように、いろんなも  
ので使っているの、子どもたちのために、早めに取り組んでいた  
だいたらうれしいなと思う。そして、早くやらないと卒業してしま  
うので。だから早め早めにこういうのをやられた方がいいような気  
がする。

◎) ご意見として承りたい。

## ◎ その他

### ◆岡富小学校給食調理場の民間委託について（学校支援課）

- 学校支援課より、岡富小学校の給食調理場について、令和 8 年度から民間委託  
し、これにより市内全ての給食調理場が民間委託となること等について説明があ  
った。



◆ 1月定例会教育委員会の日程について（教育政策課）

- 1月定例会教育委員会については、1月28日（水）の13時30分から、災害対策本部室で開催する。

■12月31日をもって辞職される久世由美子教育委員に挨拶をいただいた。

◎ 閉会

高森教育長が閉会を宣し、終了した。（14時45分）